

## 第68回高松宮記念杯競輪（G I）開催要綱より抜粋

### 第9 参加選手数及び選抜方法

#### 1. 参加選手数

正選手 S級 108名（東日本地区 54名、西日本地区 54名）

補欠選手 S級 10名（東日本地区 5名、西日本地区 5名）

開催2日前までに正選手に欠場がある場合、地区ごとに第68回高松宮記念杯競輪（G I）出場選手選考順位順に補欠選手より補充し、残りは予備選手とする。

#### 2. 選抜方法

第68回高松宮記念杯競輪（G I）開催時にS級に在籍し、品性、技能ともに優秀な選手を東・西日本の地区に分け、次の基準により選手選考委員会において選抜する。

なお、この場合の東・西日本地区の区分は、次のとおりとする。

\*東日本地区 北海道、東北地区及び関東甲信越静地区に在籍する選手。

\*西日本地区 東海・北陸地区、近畿地区、中国・四国地区及び九州地区に在籍する選手。

##### (1) 正選手の選抜方法

- ① S級S班在籍者。
- ② 高松宮記念杯競輪に3回以上優勝した者（開催時S級1班に在籍する者）。
- ③ リオデジャネイロオリンピック自転車競技トラック種目代表選手。
- ④ 平成28年10月から平成29年3月までの期間（以下「選考期間」という。）における平均競走得点上位者。

##### (2) 補欠選手の選抜方法

上記(1)に準じ、順次選抜する。

##### (3) 特別選抜予選競走に出場する選手の選抜方法

正選手のうちから、次の基準により各地区9名に達するまで順次選抜する。

- ① S級S班在籍者。

- ② 上記①を除く選考期間における平均競走得点上位者。

なお、欠場があった場合は、上記基準に準じ地区ごとに一次予選競走出場予定選手から繰り上げる。

##### (4) 選考期間における平均競走得点が同点だった場合の取り扱い

選考期間における平均競走得点が同点だった場合は、同期間における選考用賞金獲得額の上位者を上位とする。